

指定管理施設モニタリングチェックシート

(令和5年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～翌年3月)

施設名	平戸文化センター	指定管理者	株式会社 SOUND M FACTORY
指定期間	令和6年4月1日から令和10年3月31日まで	担当課	財務部 企画課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画(A)	実績(B) (モニタリング時)	対計画比較 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数(日)	360	328	91.1	
	延べ利用者数(人)	25,000	56,329	225.3	
	事業開催回数	必須事業(回)		0	
		自主事業(回)		4	
収支状況	収入	指定管理料(円)	39,500,000	39,500,000	100.0
		利用料収入(円)	12,200,000	18,351,350	150.4
		自主事業収入(円)	480,000	737,500	153.6
		その他の収入(円)	220,000	439,160	199.6
		収入計(円)	52,400,000	59,028,010	112.6
	支出	人件費(円)	25,783,000	27,399,864	106.3
		維持管理経費(円)	18,240,000	20,154,912	110.5
		自主事業関係経費(円)	676,000	1,452,809	214.9
		その他の支出(円)	7,701,000	9,004,284	116.9
		支出計(円)	52,400,000	58,011,869	110.7
	収支(収入-支出)(円)	0	1,016,141		

指定管理者の自己評価(改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 特定の休館日を設定しない事で、催事に合わせて予約でき、利用者数も増加している。予約のない日を休館日とし、光熱費が高騰している中で経費削減に努め、過不足ない公共施設の運営を行った。利用者へのサービス向上に努めリピート利用や新規利用を着実に増やしている。</p> <p>※当社指定管理以前の4年間平均休館日数:55.3日、当社指定管理後4年間平均休館日数:28.5日。</p>	<p>【事業の実施状況について】 長期にわたる新型コロナウイルス感染症も収束し、5月より利用制限等なく開館できた。法令遵守を念頭に利用に関わる申請書類等を適切に運用した。利用者が安心して利用できるよう、申請、打ち合わせ、催事のサポート、技術(音響・照明・舞台)の向上に努めた。サービス向上として催事の事前準備(レイアウト)を会館職員が実施し利用者の負担軽減につなげ、少子高齢化が進む地域の公共施設としての役割を担った。施設の経年劣化が進行しており、雨漏り等で利用に支障が出ないよう各施設の不具合箇所を担当課にリアルタイムで報告し協議を行い、当社で積極的に修繕を実施し経費の削減につなげた。また、地域資源の創造として自主事業「平戸映画館」「おもちゃ感謝祭」を開催した。</p>	<p>【収支状況について】 新型コロナウイルス感染症は収束を迎えたが、光熱費の高騰、施設の経年劣化の進行といった消極的な要因もある中、適切な施設運営、利用者へのサービス向上に職員一丸となって取り組み目標利用料収入を超えた。所管課と協議を行い、当初予定していた予算執行を補正し、施設や設備の修繕、利用者より要望があった備品の増設等、利用者へのサービス向上につながる予算執行を実施した。決算後の利益については提案通り平戸市に寄付を行う。</p>
---	---	--

所管課の評価(指摘事項)

<p>【開館日数・利用者数について】 予約状況に応じた流動的な開館を継続して行っていることが、年々利用者数の増加につながっていると思われる(前年度比+6,237人)。また、予約が無い日の開館を減らすことで、光熱費等高騰する中、維持管理経費の節減にも努めている。</p>	<p>【事業の実施状況について】 会場レイアウトなど利用者との事前打合せの徹底や、施設職員による会場設営・撤去等も引き続き行っており、利用者満足度の高いサービス提供に努めている。また、極力利用者に備品を取扱わせないことで、備品の故障や損傷等の減少にもつながっている。経年劣化による老朽化が著しい当施設において、館内の整理整頓や美化はもちろん、担当課と随時情報共有しつつ企業努力による自主修繕等を行い、会館利用者への不具合解消に努めている。</p>	<p>【収支状況について】 収入について、昨年度比では利用料収入の減少が見られたが、自主事業収入の増加など計画額をはるかに上回る実績であった。支出について、全国的な物価高や光熱費の高騰が続いている中で、施設職員の技術を活用しながら施設の小破修繕等も自主的に行い、維持管理経費の減少に最大限努めている。収支における昨年度実績には、電気料金の高騰による指定管理料の補填が行われていたが、補填額を除くと、前年度比250,997円収益が増加している。</p>
--	---	---

2 チェック項目

評価項目・評価事項(数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正 要改善
	利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	○適正・要改善	○適正 要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	○適正・要改善	○適正 要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正 要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	○適正・要改善	○適正 要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	○適正・要改善	○適正 要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適正津であり、市への通報体制が整っている。	危機管理マニュアル	○適正・要改善	○適正 要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の整備業務など利用者への安全対策が講じられている。	実地	○適正・要改善	○適正 要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	○適正・要改善	○適正 要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	○適正・要改善	○適正 要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	○適正・要改善	○適正 要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	○適正・要改善	○適正 要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	○適正・要改善	○適正 要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正 要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	○適正・要改善	○適正 要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	○適正・要改善	○適正 要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	人 人員配置計画、実地、出勤簿	○適正・要改善	○適正 要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	回/年 研修マニュアル	○適正・要改善	○適正 要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	% 人員配置計画	○適正・要改善	○適正 要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	実地、出勤簿	○適正・要改善	○適正 要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	○適正・要改善	○適正 要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	○適正・要改善	○適正 要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正 要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ごみの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報、実地	○適正・要改善	○適正 要改善

※評価基準

「適正」:その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」:その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見(改善点、その他特記事項)

【指定管理者の自己評価根拠】

受付等の業務:利用許可申請書、利用請求書等にて判断

施設設備の維持管理:消防法、防火管理者等関連書類、清掃委託事業者報告書、委託事業者一覧等にて判断

安全性への配慮:危機管理・リスクマネジメントマニュアル等、各種マニュアルにて判断

透明性・公平性:ホームページ、利用ガイドブック、利用アンケート及び聞き取りにて判断

効果的・効率的な運営:利用者アンケート、月次報告、ホームページ、利用ガイドブックにて判断

人員配置・人材育成等:出勤簿、研修マニュアルにて判断

個人情報の保護:個人情報保護マニュアルにて判断

自主事業の取組:月次報告にて判断

環境への配慮:週に1度、業者による資源ゴミ(段ボール・古紙・空き缶)の回収を実施している事で判断

所管課による所見(指摘事項など)

月次報告をはじめ、担当課と指定管理者間で連絡調整・情報共有が図られており、関係書類・証拠資料等についても適切に保管されている。また、随時施設を訪問した際にも施設内は整然としており、児童・学生達の憩いの場にもなっている。

平戸文化センターの管理運営全般について、条例や協定書に基づき適正に行われている。利用者ニーズについても早急かつ丁寧に対応しており、その結果が利用者数の伸びにつながっていると思われる。全ての項目において「適正」に対応が行われている。